

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	京都ホテル観光ブライダル専門学校
設置者名	学校法人大和学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	ホテル学科宿泊・料飲コース (22年度生)	夜・通信	960時間	160時間	
	ホテル学科宿泊サービスコース (21年度生)	夜・通信	990時間	160時間	
	ホテル学科料飲サービスコース (21年度生)	夜・通信	1050時間	160時間	
	ホテル学科上級ホテルコース (22年度生)	夜・通信	960時間	160時間	
	ホテル学科上級ホテルコース (21年度生)	夜・通信	900時間	160時間	
商業実務 専門課程	ブライダル学科プランナー・ スタイリストコース (22年度 生)	夜・通信	855時間	160時間	
	ブライダル学科ウエディング プランナーコース(21年度生)	夜・通信	1020時間	160時間	
	ブライダル学科ブライダルス タイリストコース(21年度生)	夜・通信	1110時間	160時間	
	ブライダル学科上級ブライダ ルコース (22年度生)	夜・通信	870時間	160時間	
	ブライダル学科上級ブライダ ルコース (21年度生)	夜・通信	990時間	160時間	
商業実務 専門課程	旅行学科 (22年度生)	夜・通信	660時間	160時間	
	旅行学科旅行セールス・プラ ンナーコース (21年度生)	夜・通信	1230時間	160時間	

	旅行学科ツアーコンダクター・ガイドコース (21年度生)	夜・通信	1230 時間	160 時間	
	旅行学科鉄道サービスコース (21年度生)	夜・通信	1155 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学内で参照可。参照の希望があれば、来校等により個別に対応。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	京都ホテル観光ブライダル専門学校
設置者名	学校法人大和学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページに記載 https://www.taiwa.ac.jp/about/outline/index.php#yakuin
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	現職：同志社大学 名誉教授	2019.6.1～ 2023.5.31	教育・経営
非常勤	現職：IT 経営構造改革アドバイザー	2019.6.1～ 2023.5.31	ICT
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	京都ホテル観光ブライダル専門学校
設置者名	学校法人大和学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度より授業計画書(シラバス)を電子化し、教員がWEB上に直接入力している。「シラバス作成要領」を教員(非常勤)に配布の上、シラバス作成の諸注意を踏まえて標記を統一できるようシラバスを作成している。 ・「シラバス作成要領」のみならず、学校運営方針や3つのポリシー、アセスメントポリシーなども合わせて紹介し、シラバスに反映している。 <p>授業計画書の作成・公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年1月から作成を開始し、全教科のシラバス内容をチェックしたうえで、3月中に完成させ、4月から公表している。 <p>※全学科共通</p>	
授業計画書の公表方法	学内で参照可。参照の希望があれば、来校等により個別に対応。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>所定の時間数に出席し、かつ、試験に合格することで科目の履修を認定している。成績評価については、下記の通り学則に規定するとともに、アセスメントポリシーを設けている。また、各科目の評価については、シラバス記載の通り、確認試験の結果に小テストやレポートを加味したものにするなど、科目ごとに基準を設定している。</p> <p><以下、学則抜粋></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習評価は原則として科目ごとの試験により行う。評価は100点法とし、60点以上を合格とする。 (2) 各期末に年2回の試験を行う。試験に関する規定は別に定める。 <p><以下、教務規定抜粋></p> <p>[その他の評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常点、論文、レポート、製作物の提出等によって成績を評価することがある。 <p>※全学科共通</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 『学修の成果に係る評価について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目ごとの成績評価を点数化（100点満点）し、各人ごとに各科目で取得した点数の平均を求めるとともに、成績の分布状況を把握するなどして成績管理を実施している。 <p>シラバスで提示した「成績評価」に基づき、「到達目標」に掲げる知識、能力が身につけているか、学修成果達成状況を測定。 また、成績評価は次の基準に基づき判定している。</p> <p>A：80点以上、 B：70点～79点、 C：60点～69点、 N：科目履修が認定される科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科ごとに上記算定方式で点数化した全科目の合計点の平均を算出し、成績の分布状況を把握している。 	
<p>※全学科共通</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.kyoto-carriere.ac.jp/greeting/policy.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各学科共通で下記の通りディプロマ・ポリシー（称号授与の方針、卒業時に必ず身につける能力）を策定し、HPにて公表している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際文化観光都市・京都で豊かな感性を学び、人を感動させ、幸せを与えることができるホスピタリティマインド（おもてなしの心）を身につけている。 2. ホスピタリティ業界で活躍し続けるために、前に踏み出し、目標に向かってやり遂げる力を身につけている。 3. 相手の意図をくみ取り、論理的に分かりやすく表現するコミュニケーション能力を身につけている。 4. グローバル社会や環境の変化に柔軟に対応し、ICTの利活用やDXを推進することで企業利益につなげる創造力を身につけている。 5. 専門知識や技術、取得した資格を企業や業界の成長・発展に貢献する実践力を身につけている。 <p>ディプロマ・ポリシーに基づき、2年以上在学し所定の課程を修め単位を修得した者には卒業を認定し、専門士（商業実務専門課程）の称号を与えている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.kyoto-carriere.ac.jp/greeting/policy.html</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	京都ホテル観光ブライダル専門学校
設置者名	学校法人大和学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.taiwa.ac.jp/sdgs/pdf/taiwa_2.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.taiwa.ac.jp/sdgs/pdf/taiwa_2.pdf
財産目録	https://www.taiwa.ac.jp/sdgs/pdf/taiwa_2.pdf
事業報告書	https://www.taiwa.ac.jp/sdgs/pdf/taiwa_1.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.taiwa.ac.jp/sdgs/pdf/taiwa_2.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	ホテル学科宿泊・料飲コース（22年度生）	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1,720 単位時間/単位	510 単位時間/単位	1,080 単位時間/単位	130 単位時間/単位	単位時間/単位
			1,720 単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140人		73人	4人	4人	3人	7人

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	ホテル学科宿泊サービスコース（21年度生）	○	-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼間	1720 単位時間/単位	780 単位時間/単位	810 単位時間/単位	130 単位時間/単位	- 単位時間/単位
			1720 単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140人		73人	4人	4人	3人	7人

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務		商業実務専門課程	ホテル学科料飲サービスコース（21年度生）	○	-
修業	昼夜	全課程の修了に必要な総			開設している授業の種類

年限		授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1720 単位時間/単位	840 単位時間/単位	750 単位時間/単位	130 単位時間/単位	- 単位時間/単位	- 単位時間/単位
			1720 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
140人	73人	4人	4人	3人	7人		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	ホテル学科上級ホテルコース (22年度生)	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
2年	昼	1,880 単位時間/単位	講義	演習	実習	実験	実技
			540 単位時間/単位	1,050 単位時間/単位	290 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
		1,880 単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
140人	73人	4人	4人	3人	7人		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	ホテル学科上級ホテルコース (21年度生)	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
2年	昼	1,820 単位時間/単位	講義	演習	実習	実験	実技
			720 単位時間/単位	810 単位時間/単位	290 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
		1,720 単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
140人	73人	4人	4人	3人	7人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
授業計画書の作成過程
<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度より授業計画書(シラバス)を電子化し、教員がWEB上に直接入力をしている。「シラバス作成要領」を教員(非常勤)に配布の上、シラバス作成の諸注意を踏まえて標記を統一できるようシラバスを作成している。 ・「シラバス作成要領」のみならず、学校運営方針や3つのポリシー、アセスメントポリシーなども合わせて紹介し、シラバスに反映している。
授業計画書の作成・公表時期
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年1月から作成を開始し、全教科のシラバス内容をチェックしたうえで、3月中に完成させ、4月から公表している。

成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>『学修の成果に係る評価について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目ごとの成績評価を点数化(100点満点)し、各人ごとに各科目で取得した点数の平均を求めるとともに、成績の分布状況を把握するなどして成績管理を実施している。 シラバスで提示した「成績評価」に基づき、「到達目標」に掲げる知識、能力が身についているか、学修成果達成状況を測定。 ・また、成績評価は次の基準に基づき判定している。 A：80点以上、 B：70点～79点、 C：60点～69点、 N：科目履修が認定される科目 ・学科ごとに上記算定方式で点数化した全科目の合計点の平均を算出し、成績の分布状況を把握している。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマ・ポリシーに基づき、2年以上在学し所定の課程を修め単位を修得した者には卒業を認定し、専門士(商業実務専門課程)の称号を与えている。
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出欠規定をオーバーする前に、個別の連絡や面談などを行い、指導する。 また、状況に応じて保護者へ連絡し、家庭においても指導いただく。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
58人 (100%)	1人 (1.7%)	54人 (93.1%)	3人 (5.1%)
(主な就職、業界等)			
京都ブライトンホテル、株式会社ホテルオークラ東京、ザ・リッツ・カールトン京都、パーク ハイアット 京都、星野リゾート軽井沢事業所、ハイアット リージェンシー 大阪、ハイアットリージェンシー瀬良垣アイランド沖縄、HOTEL THE MITSUI KYOTO、ルネッサンス リゾート オキナワ、アマナム、ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド、プリンスホテル、アマン京都、ザ・ホテル青龍 京都清水など関西を中心に全国各地へ就職している。			
(就職指導内容)			
1年次より、自己分析やディベート・ディスカッション対策、面接対策、筆記試験対策などの実践的な授業と並行し、就職対策Ⅰ・Ⅱという授業で業界や職種理解、就職活動を進めるにあたっての心構えや仕事や社会人について、考え、学び、職業観の醸成に努めている。また、採用試験が始まる時期には、履歴書、エントリーシートの添削や模擬面接の個別指導を担当し就職担当とが連携しながら、対応している。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
レストランサービス技能検定(国家資格)、ホテル・マネジメント技能検定(国家試験)ホテルビジネス実務検定、サービス接客検定ほか			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103 人	2 人	1.9%
(中途退学の主な理由) 病気、勉学意思なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個別指導、学費延納許可制度、学園独自の奨学金制度		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程	プライダル学科プランナー・スタ イリストコース (22 年度生)		○	-	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,715 単位時間/単位	720 単位 時間/単位	915 単位 時間/単位	80 単位時 間/単位	単位時間 /単位	- 単位時 間/単位
			1,715 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140 人		112 人	0 人	3 人	12 人	15 人	

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程	プライダル学科ウエディングプラ ンナーコース (21 年度生)		○	-	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,715 単位時間/単位	825 単位時間 /単位	810 単位時間 /単位	80 単位時間 /単位	- 単位時間 /単位	- 単位時間 /単位
			1,715 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140 人		112 人	0 人	3 人	12 人	15 人	

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門 士	
商業実務		商業実務 専門課程	プライダル学科プライダルスタ イリストコース (21 年度生)		○	-	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,715 単位時間/単位	795 単位時間 /単位	840 単位時間 /単位	80 単位時間 /単位	- 単位時間 /単位	- 単位時間 /単位
			1,715 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140 人		112 人	0 人	3 人	12 人	15 人	

分野	課程名	学科名			専門士	高度専門士	
商業実務	商業実務 専門課程	ブライダル学科上級ブライダルコ ース (22年度生)			○	-	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,750 単位時間/単位	645 単位 時間/単 位	975 単位 時間/単 位	130 単位 時間/単 位	単位時間 /単位	- 単位時 間/単位
			1,750 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
140人	112人	0人	3人	12人	15人		

分野	課程名	学科名			専門士	高度専門士	
商業実務	商業実務 専門課程	ブライダル学科上級ブライダルコ ース (21年度生)			○	-	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1720 単位時間/単位	750 単位 時間/単 位	840 単位 時間/単 位	130 単位 時間/単 位	- 単位時間 /単位	- 単位時間 /単位
			1720 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
140人	112人	0人	3人	12人	15人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>授業計画書の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度より授業計画書(シラバス)を電子化し、教員がWEB上に直接入力をしている。「シラバス作成要領」を教員(非常勤)に配布の上、シラバス作成の諸注意を踏まえて標記を統一できるようシラバスを作成している。 ・「シラバス作成要領」のみならず、学校運営方針や3つのポリシー、アセスメントポリシーなども合わせて紹介し、シラバスに反映している。 <p>授業計画書の作成・公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年1月から作成を開始し、全教科のシラバス内容をチェックしたうえで、3月中に完成させ、4月から公表している。
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>『学修の成果に係る評価について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目ごとの成績評価を点数化(100点満点)し、各人ごとに各科目で取得した点数の平均を求めるとともに、成績の分布状況を把握するなどして成績管理を実施している。 シラバスで提示した「成績評価」に基づき、「到達目標」に掲げる知識、能力が身についているか、学修成果達成状況を測定。 ・また、成績評価は次の基準に基づき判定している。 A: 80点以上、 B: 70点~79点、 C: 60点~69点、 N: 科目履修が認定される科目 ・学科ごとに上記算定方式で点数化した全科目の合計点の平均を算出し、成績の分布状況を把握している。

卒業・進級の認定基準
(概要) ・ディプロマ・ポリシーに基づき、2年以上在学し所定の課程を修め単位を修得した者には卒業を認定し、専門士（商業実務専門課程）の称号を与えている。
学修支援等
(概要) ・出欠規定をオーバーする前に、個別の連絡や面談などを行い、指導する。 また、状況に応じて保護者へ連絡し、家庭においても指導いただく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
51人 (100%)	2人 (3.9%)	45人 (88.2%)	4人 (7.8%)
(主な就職、業界等) 株式会社エフ・ディ・シー・フレンズ、株式会社NIHO、醍醐、マリアージュ彦根ウェディング株式会社、株式会社ヴァンドームヤマダ、株式会社花工房、lu CREA、As-me エステル株式会社、株式会社ルミエール、株式会社 アゴーラ ホスピタリティーズ、株式会社エスクリ、株式会社グラヴィス、アニバーサリークラブ、株式会社ベリテ、株式会社HIROTA、クラウドシアグループなど全国各地へ就職している。			
(就職指導内容) 1年次より、自己分析やディベート・ディスカッション対策、面接対策、筆記試験対策などの実践的な授業と並行し、就職対策Ⅰ・Ⅱという授業で業界や職種理解、就職活動を進めるにあたっての心構えや仕事や社会人について、考え、学び、職業観の醸成に努めている。また、採用試験が始まる時期には、履歴書、エントリーシートの添削や模擬面接の個別指導を担当と就職担当とが連携しながら、対応している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) レストランサービス技能検定（国家資格）、ブライダルコーディネーター技能検定（国家資格）、BIA 認定 Associate Bridal Coordinator、色彩検定、ジュエリーコーディネーター検定ほか			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
113人	6人	5.3%
(中途退学の主な理由) 勉学意思なし、進路変更、学費困難、病気		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個別指導、学費延納許可制度、学園独自の奨学金制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	旅行学科 (22年度生)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,720 単位時間/単位	810 単位 時間/単位	870 単位 時間/単位	40 単位時 間/単位	単位時間 /単位	- 単位時 間/単位
			1,720 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		38人	2人	3人	3人	6人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	旅行学科旅行セールス・ プランナーコース (21年 度生)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,720 単位時間/単位	1065 単位時間 /単位	615 単位時間 /単位	40 単位時間 /単位	- 単位時間 /単位	- 単位時間 /単位
			1,720 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		38人	2人	3人	3人	6人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	旅行学科ツアーコンダク ター・ガイドコース (21 年度生)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,720 単位時間/単位	1020 単位時間 /単位	660 単位時間 /単位	40 単位時間 /単位	- 単位時間 /単位	- 単位時間 /単位
			1,720 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		38人	2人	3人	3人	6人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	旅行学科鉄道サービスコ ース (21年度生)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,720 単位時間/単位	1080 単位時間 /単位	600 単位時間 /単位	40 単位時間 /単位	- 単位時間 /単位	- 単位時間 /単位
			1,720 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		38人	2人	3人	3人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画書の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度より授業計画書（シラバス）を電子化し、教員がWEB上に直接入力をしている。「シラバス作成要領」を教員（非常勤）に配布の上、シラバス作成の諸注意を踏まえて標記を統一できるようシラバスを作成している。 ・「シラバス作成要領」のみならず、学校運営方針や3つのポリシー、アセスメントポリシーなども合わせて紹介し、シラバスに反映している。 <p>授業計画書の作成・公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年1月から作成を開始し、全教科のシラバス内容をチェックしたうえで、3月中に完成させ、4月から公表している。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>『学修の成果に係る評価について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目ごとの成績評価を点数化（100点満点）し、各人ごとに各科目で取得した点数の平均を求めるとともに、成績の分布状況を把握するなどして成績管理を実施している。 <p>シラバスで提示した「成績評価」に基づき、「到達目標」に掲げる知識、能力が身についているか、学修成果達成状況を測定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、成績評価は次の基準に基づき判定している。 A：80点以上、 B：70点～79点、 C：60点～69点、 N：科目履修が認定される科目 ・学科ごとに上記算定方式で点数化した全科目の合計点の平均を算出し、成績の分布状況を把握している。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマ・ポリシーに基づき、2年以上在学し所定の課程を修め単位を修得した者には卒業を認定し、専門士（商業実務専門課程）の称号を与えている。
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出欠規定をオーバーする前に、個別の連絡や面談などを行い、指導する。 <p>また、状況に応じて保護者へ連絡し、家庭においても指導いただく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25人 (100%)	3人 (12%)	21人 (84%)	1人 (4%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>株式会社ジェイアール東海パッセンジャーズ、ハウステンボス株式会社、T-LIFE ホールディングス株式会社、東海ツーリスト株式会社、株式会社平成エンタープライズ、株式会社 TEI、有限会社第一ツーリストビクトリー、株式会社グラテック、日本空輸株式会社など全国各地へ就職している。</p>			

(就職指導内容) 1年次より、自己分析やディベート・ディスカッション対策、面接対策、筆記試験対策などの実践的な授業と並行し、就職対策Ⅰ・Ⅱという授業で業界や職種理解、就職活動を進めるにあたっての心構えや仕事や社会人について、考え、学び、職業観の醸成に努めている。また、採用試験が始まる時期には、履歴書、エントリーシートの添削や模擬面接の個別指導を担当と就職担当とが連携しながら、対応している。
(主な学修成果(資格・検定等)) 国内旅行業務取扱管理者(国家資格)、総合旅行業務取扱管理者(国家資格)、旅程管理主任者、旅行地理検定、観光英語検定ほか
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46人	4人	8.7%
(中途退学の主な理由) 勉強意思なし、進路変更、学費困難		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個別指導、学費延納許可制度、学園独自の奨学金制度		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
ホテル学科	150,000円	780,000円	480,000円	その他欄の内訳は、施設設備費、実習費
旅行学科	150,000円	790,000円	390,000円	その他欄の内訳は、施設設備費、実習費
ブライダル学科	150,000円	780,000円	480,000円	その他欄の内訳は、施設設備費、実習費
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kyoto-carriere.ac.jp/greeting/evaluation.html
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として、企業等の役職員および卒業生、学校運営や教育に関する有識者で組織される学校関係者評価委員会を設置している。この委員会は、本校が経営の現状と課題について適切に把握し、教育活動及びその他学校運営の改善を的確に行おうとしているかについて、客観的に評価することを目的としている。教育理念、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、財務、学生募集、法令遵守、地域貢献、国際交流を評価基準として自己評価した結果や、いただいた意見に対する改善方法について、今後の教育活動及びその他学校運営に活かしていくとともに、ホームページに掲載し広く社会に公表することでより多くのステークホルダーの理解促進や提携協力につなげ、さらなる学校運営の改善を図っていく。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
ウェスティン都ホテル京都	2022年4月1日～ 2023年3月31日	企業等の役員または役職員
株式会社トリート ザ・トリート・ドレッシング大阪店	2022年4月1日～ 2023年3月31日	企業等の役員または役職員
株式会社日本旅行 京都四条支店	2022年4月1日～ 2023年3月31日	企業等の役員または役職員
滋賀県立大津商業高等学校	2022年4月1日～ 2023年3月31日	学校運営や教育に関する有識者
滋賀県立国際情報高等学校	2022年4月1日～ 2023年3月31日	学校運営や教育に関する有識者
京都ホテル観光ブライダル専門学校同窓会	2022年4月1日～ 2023年3月31日	卒業生
京都製菓製パン技術専門学校	2022年4月1日～ 2023年3月31日	学校運営や教育に関する有識者

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<https://www.kyoto-carriere.ac.jp/greeting/evaluation.html>

第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<https://www.kyoto-carriere.ac.jp/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	京都ホテル観光ブライダル専門学校
設置者名	学校法人大和学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		40人	38人	42人
内 訳	第Ⅰ区分	27人	22人	
	第Ⅱ区分	一人	一人	
	第Ⅲ区分	一人	一人	
家計急変による支援対象者（年間）				一人
合計（年間）				43人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	一人
計	人	0人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	一人	一人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	一人	一人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。